

臨床研究「白内障術後の乱視が裸眼視力に与える影響」について

筑波大学附属病院眼科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

白内障術後の乱視が残っていると裸眼視力を低下させます。トーリック眼内レンズ（乱視矯正用眼内レンズ）によって、白内障術後の裸眼視力が向上しました。しかし日常診療では、中等度の乱視が残っていても、良好な裸眼視力が得られる症例や、反対に軽度の乱視でも裸眼視力が低下する症例を経験します。この研究の目的は、白内障術後の乱視状態と裸眼視力の関係とそれに関連する因子を検討して、それぞれの症例のトーリック眼内レンズの適応を考えることです。

② 研究対象者

2015年1月～2019年11月までに宮田眼科病院で白内障手術を実施した患者さまで、カルテに下記のデータが記載されている20歳以上の患者さまを対象にしております。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年12月31日まで

④ 研究の方法

白内障術後の乱視量や乱視軸が裸眼視力にどのように影響しているかを検討します。

⑤ 試料・情報の項目

患者情報（年齢、性別、術眼）

術前情報（裸眼視力、矯正視力、自覚屈折、角膜乱視、眼軸長、前房深度）

手術情報（手術日、術者、眼内レンズ、眼内レンズパワー）

術後情報（裸眼視力、矯正視力、自覚屈折）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

宮田眼科病院から提供されるカルテ情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化し、電子媒体にして筑波大学へ提供されます。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 眼科 病院講師 長谷川優実

宮田眼科病院 院長 宮田和典

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 眼科 病院講師 長谷川優実

宮田眼科病院 院長 宮田和典

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：眼科 病院講師 長谷川優実

電話：029-853-3148（平日 9～17 時）